科目区分	専門教育科目	科目名	教育原理	(教育史を含む)	科目コード	19Y450	担	当者	山本 尚史				
対象学生	幼児教育学科 1年生	斗	学期 区分	前期	単位数	2	担当形態		単独				
科目 施行規則に定める科目区分又は事項等						項等	卒業要件 必修			修			
教育の基礎的理解に関する科目 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)							免許・資格 要件 幼稚園教諭必修、保育士必修						
科目の主題								学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
教育とはどのような営みであるのかを歴史的、思想的な理解を土台とし、現代の学校教育に関する社会的・制度 的理解を深め、学校教育が抱える課題について考察する。また、学校と地域社会とのつながり、学校安全につい て理解する。						1. 「 <u>尽心</u> 」 誠実な人柄と 人間力		2. 「 <u>創造</u> 」 高度な知性と 創造力		3. 「 <u>実践</u> 」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標							① 誠	② 多	③ 知	④ 表思	⑤ 実主	⑥ 就	
1. 教育の基本的概念への理解を深め、教育とはどのようなものかを考察する。							実 性	様 性	識 •	現考・・・	行体 力性	業 力	
2.	教育の歴史的変遷、思想	的背景を理解	!する。				真	- 協 働	技能	創判 造断 力	自立	貢献	
3. 教育制度の意義・原理・構造について理解し、その課題について考察する。							性	性			性	ъ	
4.	学校と地域社会とのつな	がりについて	理解する。				0	Δ	0	0	Δ	Δ	
5. 学校安全とその具体的な取り組みについて理解する。							成績評価の方法と割合						
授業方法													
講義を中心に、グループ学習を取り入れる。グループ学習ではアクティブラーニングの姿勢が求められる。各自が努力して取り組むことは勿論のこと、グループで協力して学ぶ力量を磨いてください。							定期試験 (60%) 提出物 (40%)						
課題等への対応							授業外学修時間						
オフィスアワーで対応する。							週あたり60分						
回数	授業計画							学習課題(予習・復習)					
第1回	教育とは何か						授業を受けて、各自の考えをまとめる						
44 O							授業を受	けて、各	自の考え	をまとめる	5		
第2回	家庭と地域社会による子	- 育て							自の考え		5		
	家庭と地域社会による子近代教育制度の成立と展						家庭と地	域のこそ	だてにつ			める	
第3回		開	と子ども				家庭と地教育がど	域のこそのように	だてについ	いて復習	ら自でまと	める	
第3回	近代教育制度の成立と展	育 倉橋惣三	と子ども				家庭と地教育がど倉橋の幼	域のこそのように見教育の	だてについ	さたのか名	ら自でまと	める	
第3回 第4回 第5回	近代教育制度の成立と展近代日本における幼児教	開 有 倉橋惣三					家庭と地 教育がど 倉橋の幼 教育行政	域のこそのように 児教育の の成り立	だてにつ	きたのか名	ら自でまと	める	
第3回 第4回 第5回 第6回	近代教育制度の成立と展 近代日本における幼児教 教育制度の理念・原理に	開 南 倉橋惣三 ついて 教育関係法					家庭と地 教育がど 倉橋の幼 教育行政 教育関係 要領の基	域のこそのように児教育のの成り立法令につ本的な考	だてにつ! 成立して 考え、実! ちについ! いてまと! え方をま	いて復習 さきたのか名 残について て復習 める	6自でまと		
第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	近代教育制度の成立と展 近代日本における幼児教 教育制度の理念・原理に 教育制度の構造について	開 対育 倉橋惣三 ついて 教育関係法	令を中心に	g .			家庭と地 教育がど 倉橋の幼 教育行政 教育関係 要領の基	域のこその見数官の成功である。	だてにつ! 成立して 考え、実! ちについ! いてまと! え方をま	いて復習 きたのか名 践について て復習	6自でまと		
\$3 D \$4 D \$5 D \$6 D \$7 D \$8 D	近代教育制度の成立と展 近代日本における幼児教 教育制度の理念・原理に 教育制度の構造について 幼稚園教育要領を考える	開 対育 倉橋惣三 ついて 教育関係法	令を中心に	d			家庭と地どがある。	域のこそのように 児教育のの成り立 法令につ 本的な関心	だてにつ 成立して 考え、実 ちについ いてまと え方をま に沿って	いて復習 さきたのか名 残について て復習 める	ら自でま <i>と</i> 復習 ごる諸課題		
\$30 \$40 \$50 \$60 \$70 \$80 \$90	近代教育制度の成立と展 近代日本における幼児教 教育制度の理念・原理に 教育制度の構造について 幼稚園教育要領を考える 教育をめぐる諸課題を考	開開育 倉橋惣三ついて 教育関係法	令を中心に	र्ष			家庭と地と地と地と地と地と地と地と地と地と地と地と地と地と地と地と地と地と地と地	域のこそのように児教育の成り立つ法令になる。	だてにつ 成立して 考え、実 ちについ いてまと え方をま に沿って	いて復習 いて復習 きたのか名 銭について て復習 める とめる か育をめく イメージす	ら自でま <i>と</i> 復習 ごる諸課題		
\$30 \$40 \$50 \$60 \$70 \$80 \$90	近代教育制度の成立と展 近代日本における幼児教 教育制度の理念・原理に 教育制度の構造について 幼稚園教育要領を考える 教育をめぐる諸課題を考 教師としての生活とは	開 対 対 対 対 対 に で 、 数 で は 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	令を中心に 一チ課題を探	d			家教を書きる。教教を書きる。教教を書きる。教教を書きる。教教を書きる。教教を書きる。教教を書きる。教教を書きる。教教を書きる。教教教を書きる。教教教を書きる。教教教教を書きる。教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教	域のようにの成分のは、大きのでは、たきのでは、大きのでは、たらのでは、た	だてにつ! 成立して 考え、実! ちについ え方をま に沿ってまとい え方をす	いて復習 いて復習 きたのか名 銭について て復習 める とめる か育をめく イメージす	を自でま <i>と</i> で復習 **る諸課題	を調	
\$30 \$40 \$50 \$60 \$70 \$80 \$100 \$110	近代教育制度の成立と展 近代日本における幼児教 教育制度の理念・原理に 教育制度の構造について 幼稚園教育要領を考える 教育をめぐる諸課題を考 教師としての生活とは 学校教育に関わる様々な	開 精育 倉橋惣三 ついて 教育関係法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	令を中心に 一チ課題を探	ġ			家教 倉 教 教 要 各べ 教 多 各べ 教 多 各べ 教 の の 考 と は な の 男 え は な の 男 え は な の 男 え	域のこそにの 児教育の 立 なまう 育の 立 かまり に な 関心 と か と の よ ー 関心 と の よ ー 関心	だてにつ! 成立して 考え、実! ちについ え方をま に沿ってまとい え方をす	いて復習 いて復習 きたのか名 でである と 数 育を めく イ メ 冒 質 数 育 を めく	を自でま <i>と</i> で復習 **る諸課題	を調	
\$30 \$40 \$50 \$60 \$70 \$80 \$90 \$110 \$110	近代教育制度の成立と展 近代日本における幼児教 教育制度の理念・原理に 教育制度の構造について 幼稚園教育要領を考える 教育をめぐる諸課題を考 教師としての生活とは 学校教育に関わる様々な 教育をめぐる諸課題を考	開 精育 倉橋惣三 ついて 教育関係法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	令を中心に 一チ課題を探	g'			家教 倉 教 教 要 各ペ 教 多 各ペ 地地どが め	域のこそにの 見教育 りになる との はない こう でんしょう でんしょう かい とり ない はん かい とり かい とり かい とり かい とり かい といい はん かい はん	だてについれています。 またい えい えい まま まい な 存在 かい 関わ り につい り につい い か に か い か で で が し い か に か い か に か い か に か い か に か い か に か い に か い に か い い い い	いて復習 いて復習 きたのか名 でである と 数 育を めく イ メ 冒 質 数 育 を めく	ら自でまと で復習 さる諸課題	を調	
\$30 \$40 \$50 \$60 \$70 \$80 \$90 \$110 \$110 \$130	近代教育制度の成立と展 近代日本における幼児教 教育制度の理念・原理に 教育制度の構造について 幼稚園教育要領を考える 教育をめぐる諸課題を考 教師としての生活とは 学校教育に関わる様々な 教育をめぐる諸課題を考	開 育 倉橋惣三 ついて 教育関係法 さえる I リサ	令を中心に 一チ課題を探 いて の中間報告	व ं			家教 倉 教 教 要 各べ 教 多 各べ 地 学 各庭 育 橋 育 育 領 自・師 様 自・域 校 自のの考とな の考社 を の男 となり 関東の は ア 興え会 取 興	域のこそにの現象のは、 のようすののは、 の成のではなりのでは、 なりのでは、 のようのでは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の	だてにして 実 い え に な 関 に り 題 に な つ 全 で	いて復習 きたのか を	を自でまと で復習 なる諸課題 る。	を調を調でて復習	
\$30 \$40 \$50 \$60 \$70 \$80 \$100 \$110 \$110 \$1140	近代教育制度の成立と展 近代日本における幼児教 教育制度の理念・原理に 教育制度の構造について 幼稚園教育要領を考える 教育をめぐる諸課題を考 教師としての生活とは 学校教育に関わる様々な 教育をめぐる諸課題を考 学校と地域社会について	開 南 倉橋惣三 ついて 教育関係法 える I リサ アクターにつ える I 調査	令を中心に 一チ課題を探 いて の中間報告	d			家教倉教教要各べ教多各べ地学各べとがののののののまとなりのの考せならっません。	域のよう 育の 法本味るどク味るとり味、 のよう 育の はない かい とり はない かい とり とり 関系 の とり 関系 しょう のいかい はんしょう のいかい はんしょう かいがい しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅうしゃ はいしょう しゅうしゅう はいしょう しゅうしゅう はいしょう しゅうしゅう はいしょう しゅうしゅう はいしょう はいしょう しゅうしゅう はいしょう はいしょう しゅうしゅう はいしゅう しゅうしゅう しゅう	だてにつて、またいでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、	いて復習といて復習と数音をめくなりなると数音をめくなりである。	を自でまと でる諸課題 でる諸課題 のような諸課題	を調を調でて復習	
\$30 \$40 \$50 \$60 \$70 \$80 \$110 \$110 \$1120 \$1140 \$1150	近代教育制度の成立と展 近代日本における幼児教 教育制度の理念・原理に 教育制度の構造について 幼稚園教育要領を考える 教育をめぐる諸課題を考 教師としての生活とは 学校教育に関わる様々な 教育をめぐる諸課題を考 学校と地域社会について 学校安全について 教育をめぐる諸課題を考	開 南 倉橋惣三 ついて 教育関係法 える I リサ アクターにつ える I 調査	令を中心に 一チ課題を探 いて の中間報告	j'			家教倉教教要各べ教多各べ地学各べとがののののののまとなりのの考せならっません。	域のよう 育の 法本味るどク味るとり味、 のよう 育の はない かい とり はない かい とり とり 関系 の とり 関系 しょう のいかい はんしょう のいかい はんしょう かいがい しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅうしゃ はいしょう しゅうしゅう はいしょう しゅうしゅう はいしょう しゅうしゅう はいしょう しゅうしゅう はいしょう はいしょう しゅうしゅう はいしょう はいしょう しゅうしゅう はいしゅう しゅうしゅう しゅう	だてにつて、またいでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、	いて復習 ときたのかな できたのいて できたのかな できたのいて できた できた できた できた できた できた できた できた ない できた ない かく できた	を自でまと でる諸課題 でる諸課題 のような諸課題	を調を調でて復習	
第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第10回 第11回 第13回 第14回 第15回	近代教育制度の成立と展近代日本における幼児教教育制度の理念・原理に教育制度の構造について幼稚園教育要領を考える教育をめぐる諸課題を考教育をめぐる諸課題を考学校と地域社会について学校安全について教育をめぐる諸課題を考教育とはどのような営み	開 南 倉橋惣三 ついて 教育関係法 である I リサ アクターにつ でえる II 調査	令を中心に 一チ課題を探 いて の中間報告	書房	受メックジャン		家教 倉 教 教 要 各べ 教 多 各べ 地 学 各べ 講など が め 行 関 の の考 と な の考 社 を の考 を んぱっぱい で いっぱい で 乗る と ないの できる しょう の の ま と な の 考 社 を の 考 を んぱっぱい で 興え と 取 興え 踏んがう	域の児の法本味るどク味るとり味、まてない。 こう育りにな関よー関して、関係を発えている。 とのかのかのでは、「は、これのののでは、「は、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これの	だ成 考 ち い え に な 関 に り 題 にる 教 保をと ま て か を て い 全 て は る 教 育者え る お か ま と る お	いっき 残 て め と 数 イ 復 数 て 面 数 回 を受業 がって の か と 数 イ 復 数 て 面 数 回 を 日業 ますす か り め く オ すす も の か り め く オ す す も の か り め く オ す す も の か り か と ま す す も の か り か り か り か り か り か り か り か り か り か	を自でまと でまと でまと でる 諸課題 しこで この この この この この この この この この この	を 調 を で て ま 調 で た が こ に が こ に た ろ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ	